

会 議 録

I 附属機関等の会議の名称

松川町自治体経営審議会(第 3 期/第 3 回)

II 開催日時

平成 22 年 1 月 22 日(金) 午後 7 時 30 分から午後 9 時 15 分まで

III 開催場所

松川町役場 2 階協議会室

IV 出席者氏名

尾曾元広副会長、久保田志げ子委員、近藤保穂委員、原文子委員、宮下彰委員
宮下繁委員、吉田豊委員、米沢正幸委員(欠席:荻原正義会長、佐藤和仁委員)
事務局:吉沢澄久総務課長、片桐雅彦企画財政係長、宮下祥司主査

V 議題(公開)

- ・平成 21 年度行政評価第三者評価のまとめ
- ・自治体経営改革プランの進捗状況について

VI 非公開の理由(会議を非公開とした場合)

—

VII 傍聴人の数

0 人

VIII 会議資料の名称

- ・平成 21 年度行政評価第三者評価まとめの原稿[事前配布]
- ・松川町自治体経営改革プランの進捗状況について[〃]

IX 審議の概要

1 開会 (事務局)

2 挨拶 (尾曾副会長)

3 議事

(1)平成 21 年度行政評価第三者評価まとめ

項目ごとに事務局より説明し、討論まとめ

①まつかわ町民提案型まちづくり事業

(委員)

「継続」という評価を具体的に見ていくと「改善」が必要という記述が多く、そうした意見を踏まえた「継続」と評価すべきではないか。

(事務局)

評価は「継続」とするが、改善意見を付記する等行うことでよろしいか。

－全員了承

②ホームページや広報誌などの充実

(委員)

情報媒体は多様になっており、媒体の特性を活用した情報提供が必要だ。

(事務局)

評価は「継続」とするが、改善意見を付記する等行うことでよろしいか。

－全員了承

③企業誘致の推進

(委員)

評価理由等を見ると内容的には「拡大」ではないか。

(委員)

現在ある企業同士の連携を図り、元気にしていく必要があるが、商工会の力が弱くなっておりその役割が果たし切れていない面もある。

(委員)

JAもマンネリ化している。農家は本来1次産業で作るプロであるが、現在は2次3次産業の部分まで直接行っている。我々は作る分野で売る分野は商業に任せるといったこれまでにない新たな仕組みが必要な時代が来ていると思う。

(委員)

資本が都会にある企業を誘致することより、自らの地域に産業を作っていくという仕組みが必要で、産業振興課にはそれをコーディネートする役割が求められている。

(委員)

「継続」ではないと思うが、予算等の拡大とまではいかないのが「改善」とし、必要な経費は計上するよう求めるとしてはどうか。

(事務局)

提出段階では「継続」が多数であったが、議論を踏まえ評価は「改善」とすることでよろしいか。

－全員了承

④まつかわの里温水プール及びバッテリーカーランド

(委員)

利用者を増やす策があるのかないのかが判断基準になるのではないか。

(委員)

将来、大規模改修等を検討する際には、今後も財政負担が出来るかどうか、費用対効果をしっかり検討してもらいたい。

(委員)

年会費の制度が無いが、会員制とすることで利用者増につながらないか、検討してみてもどうか。

(委員)

バッテリーカーランドは、スケートボードの利用に切り替えてはどうか。

(委員)

既にある施設を評価するのであるから、経営的視点から見て、赤字を改善するよう策を講じることを求めていくということではないか。

(事務局)

評価は「改善」とすることでよろしいか。

－全員了承

⑤ボランティア活動・NPO の支援

(委員)

設定が多岐にわたり評価しにくいので、改めて細かく設定して評価したほうがよい。

(委員)

ボランティア活動の支援は、社会福祉協議会等への委託がほとんどで、直接評価するのは難しいかもしれない。

(事務局)

評価は多数である「継続」でよろしいか。

－全員了承

(事務局)

事務局において、本日の議論をまとめ第三者評価書案を作成、委員あてに送付するので確認いただき、町長への提出としたい。

提出された第三者評価は担当へフィードバックするとともに、庁内行政評価委員会(3月頃)において、第三者評価結果を踏まえた町の考え方を検討し、公表する予定である。

－全員了承

(2)松川町自治体経営改革プランの進捗状況について

事務局より説明、改めて様式を送付し、意見等について提出を求める。

(3)その他

本年度の会議は今回を最終とする。次回は次年度秋頃を想定している。

4 閉会 (尾曾副会長)